

- 問1 関西国際空港は、海上の埋立地に建設された人工島という立地上の大きな特徴を持っています。都市部の内陸にある空港と比較して、このように海上に空港を建設することで得られる環境面の利点として、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- 都市部から遠く離れることで、空港利用客による周辺道路の渋滞を解消できる
 - 周辺の住宅地に対する騒音や排気ガスの影響を抑えることができる
 - 山間部を切り開く必要がないため、土砂災害の危険性を完全になくすることができる
 - 海風を利用することで、飛行機の離着陸に要する燃料を大幅に削減できる
- 問2 琵琶湖から流れ出る水が都市部で利用される仕組みや、その管理のあり方について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
- 琵琶湖の水は主に農業用水としてのみ利用され、都市部の生活用水はすべて海水を淡水化したものを使用している。
 - 琵琶湖から流出した水は、河川を経由して各地の浄水場で飲み水などに適した処理が施された後、京阪神の各家庭へ供給される。
 - 浄水場での技術が向上したため、水源である琵琶湖や河川的环境保全に取り組む必要性はなくなっている。
 - 琵琶湖から大阪湾に至るまでの河川では、水害を防ぐための治水よりも、水力発電による電力供給が最優先されている。
- 問3 和歌山県の有田市周辺など、2万5千分の1地形図において山の斜面に「丸の中に点」の地図記号が密集している地域で見られる、近畿地方を代表する農業の様子として正しいものはどれですか。 (2015年 高山県公立入試 類似)
- 平地の水田地帯を利用して、大消費地である大阪や京都向けの米作りが行われている。
 - 全国1位の生産量を誇るみかんの果樹園が広がり、急斜面を活かした栽培が行われている。
 - 都市の近くで新鮮な野菜を供給するため、高度な施設を利用した近郊農業が行われている。
 - 標高の高い高原の冷涼な気候を利用して、レタスやキャベツなどの高原野菜が栽培されている。
- 問4 大阪や京都などの大消費地に近い地域で行われる「近郊農業」において、生産者が得られる最大の利点として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
- 収穫したばかりの野菜を新鮮なうちに市場へ出荷できること
 - 都市部から離れた安価な土地を利用して、輸送費を極限まで抑えること
 - 海外輸出を主な目的として、保存期間の長い穀物類を生産すること
 - 広い土地を利用して、大型機械による効率的な大規模生産ができること
- 問5 和歌山県の産業の特徴について、梅の生産に関する2022年のデータ（全国合計の収穫量9万6600トンに対し、和歌山県は6万4400トン）に基づいた説明として、全国シェアの割合が最も近いものはどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- 全国シェアの約二十七パーセントを占めている
 - 全国シェアの約八十七パーセントを占めている
 - 全国シェアの約六十七パーセントを占めている
 - 全国シェアの約四十七パーセントを占めている
- 問6 京阪神大都市圏において、滋賀県に位置する日本最大の湖である琵琶湖が、都市の維持において重要な役割を果たしている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
- 琵琶湖の広大な水面がヒートアイランド現象を抑制し、京都市内や大阪市内の夏場の気温を大幅に下げ役割を担っているため。
 - 琵琶湖の水深が非常に深いため、海外から大型のタンカーが直接大阪や神戸の港へ入港するための主要な航路として利用されているため。
 - 琵琶湖から流出する淀川の水系が、京都・大阪・神戸などの大都市における膨大な人口の生活や産業を支える水源となっているため。
 - 琵琶湖周辺で採掘される豊富な石炭や鉄鉱石が、阪神工業地帯におけるエネルギー源や原料として古くから活用されてきたため。
- 問7 滋賀県に位置する日本最大の湖である琵琶湖の標高について、その特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- 海面（標高0m）とほぼ同じ高さに位置している
 - 海面（標高0m）よりも約84mから86m高い位置にある
 - 海面（標高0m）よりも低い位置にあり、海水が流れ込んでいる
 - 周囲の山々よりも高い場所にあり、日本で最も標高が高い湖である
- 問8 滋賀県にある日本最大の湖である琵琶湖を源流とし、京都府を経て大阪湾へと注ぐ、西日本を代表する一級河川の水系名を答えなさい。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
- 淀川水系
 - 利根川水系
 - 信濃川水系
 - 筑後川水系
- 問9 近畿地方を北西（日本海側）から南東（太平洋側）へ横断するように、土地の起伏を垂直方向の断面で示した資料があります。その資料において、中央付近には標高1,000メートルから2,000メートルに達する鋭い山並みが描かれ、両端の沿岸部は標高がゼロに近い平坦な地形となっています。この中央部に位置する山地の名称と、その地形が地域に与える影響について述べた説明として、最も適切なものを選んでください。 (2026年 山口県公立入試 類似)
- 紀伊山地が位置しており、南東から吹く湿った季節風を遮ることで、その南斜面に非常に多い降水量をもたらしている。
 - 中国山地が位置しており、なだらかな山容を利用して大規模な牧場が作られ、乳牛の飼育が盛んに行われている。
 - 木曽山脈が位置しており、急峻な地形を利用した大規模な水力発電所が数多く建設され、京阪神への電力供給源となっている。
 - 飛騨山脈が位置しており、標高が高く冬の積雪が非常に多いため、一年を通じて雪を利用した観光業が発展している。
- 問10 日本の工業製品の製造品出荷額等を地方別に示した統計において、近畿地方は、ある製品の出荷額が占める割合が約41.2%に達し、北海道や中国・四国地方など他の地方と比べて極めて高いという特色があります。大阪などの大都市を抱え、出版・報道機関が集まっていることが背景にあるこの製品分類として正しいものを選びなさい。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
- 輸送用機械
 - 食料品
 - 繊維製品
 - 印刷・関連製品
- 問11 東海道新幹線の停車駅が所在する府県を、東京都から大阪府に向かって順番に並べた資料を想定します。神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜県、滋賀県と続き、滋賀県と大阪府の間に位置する、日本を代表する古都が所在する府県はどこですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
- 奈良県
 - 兵庫県
 - 京都府
 - 和歌山県
- 問12 滋賀県の琵琶湖で水質保全活動が重要視されている理由について説明した文として、最も適切なものはどれですか。なお、統計上、大阪府では人口の約99.6%、京都府では約70.6%が琵琶湖を水源とする水を利用しており、これらの府県の下流地域は、人口密度が1平方キロメートルあたり2,000人を超える非常に高い地域となっています。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
- 下流の大阪府や京都府は人口密度が低いため、水の需要が少なく、水質が悪化しても社会的影響が小さいから。
 - 琵琶湖の水質が悪化すると、下流にある大阪湾の塩分濃度が急激に上昇し、漁業に深刻な被害が出るから。
 - 琵琶湖の水は滋賀県内のみで消費される仕組みになっており、下流の府県では農業用水としてのみ利用されているから。
 - 琵琶湖から流れる水は、人口密度が高い下流地域の膨大な数の人々にとって、欠かせない生活用水となっているから。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 周辺の住宅地に対する騒音や排気ガスの影響を抑えることができる	空港を海上の埋立地に建設する最大の理由は、人々の生活圏から離すことで、飛行機の発着時に発生する騒音や排気ガスによる環境被害を軽減することにあります。これにより、都市部の空港では難しい24時間運用なども可能になります。
問2	答え 2 琵琶湖から流出した水は、河川を經由して各地の浄水場で飲み水などに適した処理が施された後、京阪神の各家庭へ供給される。	琵琶湖から流れ出す淀川水系の水は、都市部の生活を支える水源として不可欠です。浄水場において不純物の除去や消毒を行うことで、安全な水道水が供給されています。また、下流域の住民が安定して良質な水を利用し続けるためには、上流域にあたる琵琶湖の水質汚濁防止や森林保全などの環境対策が非常に重要です。
問3	答え 2 全国1位の生産量を誇るみかんの果樹園が広がり、急斜面を活かした栽培が行われている。	地形図の「丸の中に点」の記号は果樹園を表します。和歌山県は全国1位のみかん産地であり、特に有田周辺では山地が海に迫る地形を活かし、日当たりの良い斜面一面にみかん畑が作られています。このような土地利用は、水はけを好む果樹栽培の特性に合致したものです。
問4	答え 1 収穫したばかりの野菜を新鮮なうちに市場へ出荷できること	近郊農業は、大都市に近いという立地条件を最大限に活かした農業形態です。特に鮮度が重要視される野菜などは、収穫から消費者に届くまでの時間を短縮できることが、品質の維持や高い市場価値につながります。輸送費の削減も利点の一つですが、最大の目的は「新鮮な状態での出荷」にあります。
問5	答え 3 全国シェアの約六十七パーセントを占めている	和歌山県の収穫量（6万4400トン）を全国合計（9万6600トン）で割ると、その割合は約0.666...となります。これはパーセントに換算すると約67パーセントに相当し、全国の収穫量の3分の2を和歌山県が担っているという特筆すべき産業構造を示しています。このような高いシェアを持つ背景には、ブランド化された「紀州梅」の生産・流通体制の確立があります。
問6	答え 3 琵琶湖から流出する淀川の水系が、京都・大阪・神戸などの大都市における膨大な人口の生活や産業を支える水源となっているため。	琵琶湖は「近畿の水がめ」とも呼ばれ、そこから流れ出る淀川は、京都、大阪、神戸といった大都市が密集する京阪神大都市圏の飲料水や工業用水を供給する極めて重要な役割を担っています。地形的に見ても、琵琶湖から流れ出る河川がこれらの主要都市へと繋がっており、都市圏の成立と発展は、この豊かな水資源の供給体制によって支えられています。
問7	答え 2 海面（標高0m）よりも約84mから86m高い位置にある	琵琶湖は滋賀県の中央に位置する日本最大の湖です。この湖の湖面は、東京湾の平均海面を基準とした標高0mよりも約84mから86m高い位置にあります。そのため、琵琶湖は「内陸湖」としての性質を持ち、湖から流れ出る水は淀川（瀬田川・宇治川）などを通じて、より低い位置にある大阪湾（海）へと流れていきます。
問8	答え 1 淀川水系	琵琶湖から流れ出る唯一の河川は、滋賀県内では瀬田川、京都府内では宇治川、大阪府内では淀川と名称を変えながら大阪湾へと注ぎます。この一連の河川と支流を合わせた広大なネットワークが淀川水系であり、近畿地方の生活や産業を支える「近畿の水がめ」として極めて重要な役割を果たしています。
問9	答え 1 紀伊山地が位置しており、南東から吹く湿った季節風を遮ることで、その南斜面に非常に多い降水量をもたらしている。	近畿地方の中央から南部にかけて広がる紀伊山地は、標高1,000メートルから2,000メートル級の険しい山々が連なる日本有数の山岳地帯です。この山地は、夏に太平洋から吹き込む湿った南東の季節風を正面から受けるため、上昇気流が発生し、三重県の尾鷲などに代表される世界的な多雨地域を形成する要因となっています。一方、北西側の日本海沿岸部や両端の平坦な低地とは対照的な険しい起伏を示しており、地形断面図における最大の特徴となります。
問10	答え 4 印刷・関連製品	近畿地方は、大阪を中心とした大都市圏を形成しており、多くの出版社や報道機関、広告会社などの事業所が集中しています。印刷業は、これらの情報を発信する機関と密接に連携する必要がある「都市型工業」としての側面を持つため、大都市を擁する近畿地方において出荷額の割合が非常に高くなっています。
問11	答え 3 京都府	東海道新幹線は、東京都を起点として大阪府の新大阪駅までを結び路線です。滋賀県にある米原駅と、大阪府にある新大阪駅の間に位置するのは京都府の京都駅です。歴史的な背景から奈良県と混同しやすいですが、奈良県には新幹線の駅は設置されておらず、東海道新幹線のルートからも外れています。
問12	答え 4 琵琶湖から流れる水は、人口密度が高い下流地域の膨大な数の人々にとって、欠かせない生活用水となっているから。	琵琶湖から流れ出る水は淀川などを通じて下流へと運ばれ、京都府南部や大阪府といった都市部の重要な水源となっています。提示された数値の通り、特に大阪府ではほぼ全ての住民が琵琶湖の水に依存しており、さらにこれらの地域は人口密度が極めて高い過密地域であるため、水質の悪化は非常に多くの人の日常生活を脅かすことになります。このため、上流に位置する滋賀県だけでなく、流域全体で水質を保全することが社会的に極めて重要な課題となっています。